University of the Arts London

2012/2/22

TWS aoyama creator in residence

協動スタジオプログラム6 ｜ アートと環境との対話

「新たなるコミュニティデザイン」

On Site Lab Workshop - Series 6 | Creative Dialogue and Commitment to the Environment "New Community Design"

2012/3/17 土 - 3/24 土 トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス

チューター	プログラム編成協力
ギョンウォン・ムン ｜ Kyungwon Moon	渡邉康太郎 ｜ Kotaro Watanabe
ジュンホ・チョン ｜ Joonho Jeon	
ジェームス・アイルランド ｜ James Ireland	
家村佳代子 ｜ Kayoko Iemura	

Photo: Shigeo Muto ©Tokyo Wonder Site

On Site Lab 協働スタジオプログラム 6 New Community Design

取材・掲載の際は、事前に広報担当までご連絡をお願いします | 担当：浅野・千賀 | TEL:03-5766-3732 / E-MAIL: press@tokyo-ws.org

企画概要

協働スタジオプログラムは、ジャンルや国籍の異なるクリエーターが協働して、社会の課題に挑む可能性を探る創造的教育プログラムです。「アートと環境との対話 」を主題に、国内外の第一線で活躍するチューターとともに、リサーチ、レクチャー、制作を行い"協働による知の地平"を開くことを試みます。
これまでの5年間では、「＋hand 」「都市の中の水辺の環境」「地球温暖化と緑化」「ゴミ」「贅沢な時間と空間 」を各回のテーマとしてきました。今回は、「新たなるコミュニティデザイン」を課題とします。東日本大震災以降、新たな共同体を築くための試みが各地で行われています。文化、経済、環境等あらゆる分野で総合的、長期的視野のもと、新しい価値を礎とした社会システムの構築へ向けて、皆で対話し、考え、実行するまたとない重要な機会です。真の復興に必要なのは、いかなる環境なのか。情報デザイン、都市計画、芸術文化等、様々な分野におけるコミュニティデザインに関するリサーチを行い、サスティナブルな生の在り方を、探って行きます。

開催概要

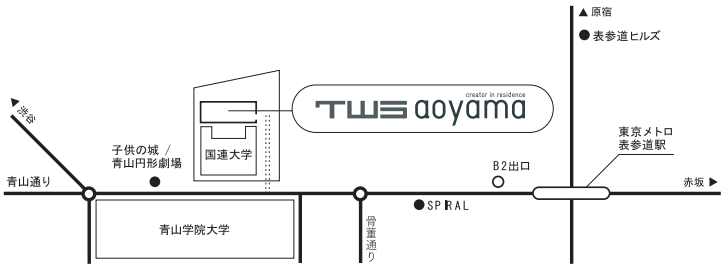
■会期	2012年3月17日（土）～2012年3月24日（土）
■会場	トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス
■休館日	3月19日（月）
■スケジュール	3月17日（土）オリエンテーション（プログラム紹介、チューター・プレゼンテーション、参加者自己紹介、参加者グループ分け） 3月18日（日）～23日（金）リサーチ及び協働作業、ゲスト講師によるレクチャー（一般公開）など 3月24日（土）最終プレゼンテーション（一般公開） ※スケジュールなどの詳細は随時ウェブサイトにてお知らせいたします。 ※プログラムは原則として英語で進められます。（日本語のレクチャーには英語通訳あり）
■応募について	詳細はTWSウェブサイト＜公募情報＞をご覧ください。
■主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
■協力	ロンドン芸術大学

同時開催　TWS クリエーター・イン・レジデンス・オープン・スタジオ「トーキョー・ストーリー 2011」

■会場	トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス、トーキョーワンダーサイト渋谷、トーキョーワンダーサイト本郷
■休館日	3月10日（土）～4月29日（日）　※TWS青山は4月28日（土）まで

会場案内

トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67
コスモス青山SOUTH棟3F
TEL: 03-5766-3732
FAX: 03-5766-3742
URL: http://www.tokyo-ws.org



■交通案内：表参道駅B2 出口（東京メトロ銀座・半蔵門・千代田線）より徒歩7分
渋谷駅（JR 山手・埼京線・湘南新宿ライン / 東急東横・田園都市線 / 京王井の頭線 / 東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線）より徒歩8 分
駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。

レクチャー講師

ギョンウォン・ムン｜Kyungwon Moon

アーティスト、梨花女子大学教授。1969年ソウル生まれ。韓国ソウルの梨花女子大学にて絵画を学ぶ。1998年に米国カリフォルニア州California Institute of the Artsにて芸術学修士号を取得した後、様々な技法を通じて作品のコンテクスト上の要素について論じている。最近の主要な展覧会に、ドイツのBOCUM Museum (2010年)とトルコのSantral Istanbul Museum (2009年)で行われた「Different Similarity」展、韓国のNam June Paik Art Centerでの「Now Jump」展（2008年）、イギリスのKing's Lynn Arts Centreでの「Modest Monuments」展（2008年）などのグループ展に参加している。現在はソウルに在住し、制作を行っている。

ジュンホ・チョン｜Joonho Jeon

アーティスト。1969年、韓国・釜山生まれ。釜山の東義大学校にてファイン・アートを学んだ後、大学教員、仏像の彫刻家となる。また、飲食料品業界での職歴も持つ。後に、ロンドンのチェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインで学ぶ。2000年に初の展覧会を行って以来、韓国国内および欧米の複数の著名なギャラリーにて個展を開催する他、世界各国のグループ展にも参加している。主な国際展に、光州ビエンナーレ（2004年）、シンガポール・ビエンナーレ（2006年）、「笑い展」（森美術館、2007）、「Metamorphosis」（エスパス・ルイ・ヴィトン、パリ、2008年）がある。最近の個展では、Galerie Thaddaeus Ropac（パリ、2008年）、SCAI The Bathhouse（東京、2009年）がある。

ジェームス・アイルランド｜James Ireland

アーティスト、ウィンブルドン・カレッジ・オブ・アート講師。1977年生まれ、ロンドン在住。彫刻やインスタレーション作品を主に制作している。文化的・経済的な事象が人々の環境知覚能力の形成にいかに影響を与えるかに興味をもち、集合的なスクリーンという観念を文字通り表現するために鏡や半透明な表面性をもった物質を用いて制作する。主な個展・参加プロジェクトにArt-O-Rama（マルセイユ、2008年）、f a projects（ロンドン、2007年）、the Economist Building（ロンドン、2007年）、Angel Row Gallery（ノッティンガム、2005年）での展示がある。その他グループ展に「Peace and Agriculture in a Pre-Romantic Ideal Landscape, Without Sublime Terror」(Haunch of Venison、ベルリン、2008年)、「Material Presence: Sculpture and Installation from the Zabludowicz Collection」（176、ロンドン、2008年）、「Beyond the Country: perspectives of the land in historic and contemporary art」（Lewis Glucksman Gallery、コーク、アイルランド、2007年）、「Uncanny Nature」（the Australian Centre for Contemporary Art、メルボルン、2006年）、「Scape」（CAC、ビリニュス，リトアニア、2005年）など。またSt. Bart's Hospital（ロンドン）とZabludowicz Collection（Sarvisalo、フィンランド）にコミッションワークが恒久展示されている。

家村佳代子｜Kayoko Iemura

トーキョーワンダーサイト事業課長。東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修士。ロンドンA.A. スクールディプロマコースにて、ウラル・ブンショーテンに師事。ニューヨークのコンテナーズ・オブ・マインド・ファウンデーションにて荒川修作、マドリン・ギンズと現象学をもとにした思想・哲学のモデルとしての養老天命反転地公園などのプロジェクトを遂行。帰国後、家村佳代子アトリエにて、壁画などのパブリックアートのデザイン、建築デザインに携わる。その後、子供から大人までの衣食農住など幅広くホリスティックな教育に関わると共に、子供の表現教育、IT化時代の都市デザイン、建築デザインのためのライフスケープ研究所設立。同時に2001年よりトーキョーワンダーサイトの若手アーティストを育成、支援とビジュアルアート、現代音楽、パフォーミングアート、伝統芸能とのコラボレーションを通して、グローバルな創造交流を行なうなど、幅広い分野のプログラムを企画、運営している。

プログラム編成協力

渡邊康太郎｜Kotaro Watanabe

takram design engineeringメンバー。慶應義塾大学SFC環境情報学部卒業。在学中に次世代のライフスタイルを家具、文具などの形で提案するSurroundings Co., Ltd.を共同設立。2006年度ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ・プログラム国費奨学生（シスコシステムズ・ベルギー支社）。2007年takram参加。red dot product design awardなど、受賞多数。takram design engineeringの中では、作品づくりを通して、特に「工学」と「詩情」の融合、「ものがたり性のあるものづくり」を試みる。
http://www.takram.com/

ワークショップ参加者

■講師
ギョンウォン・ムン
ジュンホ・チョン
ジェームス・アイルランド
家村佳代子

■TWS青山：クリエーター・イン・レジデンス滞在作家

■ロンドン芸術大学学生（10名）

■公募による一般参加者